



有限会社仲田種苗園

代表取締役

仲田 茂司

text by Shigezi Nakada

四季の美しさを コンパクトにして提供

特許取得した野の花マット

私たちは、福島県内で植木と山野草を生産している農業生産法人です。

経営理念は「幸せを感じる 緑のまちづくり」に貢献する、生産理念は「在来種(主)義」です。私たちは、自然の美しさを愛して「日本在来種

物のうち優良なものを商品化する」とした創業者夫婦の理念を継承し、四十数年間在来種一筋でやってきました。

日本の自然の美しさは、多種類の植物が調和し変化する「四季美」です。私は、樹木一本、草花一ポットを売るといふ従来の商売ではなく、四季の美しさをコンパクトにして、お

客様に提供できないものかと考えました。

そして二〇〇二年、多種類の植物を寄せ植えしているにもかかわらず、切り芝(芝生)のように、簡単に取り扱いできる「野の花マット」を開発。二〇〇九年には特許を取得したこのマットのこだわりと新規性は、春から秋までの四季の花が楽しめる

ように、「マットあたりにキキョウやオミナエシなどの在来種一五種以上の花野草を寄せ植えしていること」です。主に首都圏の屋上緑化や校庭緑化用資材として提供しております。

「今年は飛躍の年」と誓う

「野の花マット」を植栽した屋上はチヨウやトンボが舞い、人と生き物が触れ合う場となり、お客様からは「安らぐ」「癒される」などという評価をいただいています。

昨年は、環境ビジネスの登竜門である「エコ・ジャパンカップ2009」(環境省など主催)で、銅賞の「JP地域共存ビジネス賞」を受賞。本年一月には受賞者として初めて環境省に招かれ、小沢鋭仁環境大臣からは「野の花マット」のつくり方やこだわりなど、



四季の花が咲く「野の花マット」

多くの質問をいただきました。「生物多様性」の国際会議が開催される今年には、千載一遇の機会、飛躍の年と改めて心に誓う出来事でした。

私たちのコア・バリューは、商品開発力です。今までは私が商品開発を行ってきましたが、現在は社員が中心となって、狭いところでも多くの樹木を楽しむことができる戸建て住宅用の樹木ユニットを開発中です。ご期待ください。